

正誤表

『患者さんのための大腸癌治療ガイドライン 2022年版』第4版第1刷（2022年1月25日発行）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2022年2月4日

金原出版株式会社

記

頁	36
訂正箇所	●薬物療法の副作用 12行目
誤	抗がん剤の多くは、治療を中止すると数日から数週間の間に回復することが多いです。
正	抗がん剤の副作用の多くは、治療を中止すると数日から数週間の間に回復することが多いです。

頁	48																																																																																
訂正箇所	表4 分子標的薬																																																																																
誤	誤 (黒下線)																																																																																
	表4 分子標的薬																																																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般名</th> <th>商品名(例)</th> <th>略称(例)</th> <th>投与方法</th> <th>投与の対象となる患者さん</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">抗 VEGF 系薬</td> <td>ペバシズマブ</td> <td>アバスチン</td> <td>BEV</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラムシルマブ</td> <td>サイラムザ</td> <td>RAM</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アフリベルセプト</td> <td>ザルトラップ</td> <td>AFL</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マルチキナーゼ阻害薬</td> <td>レゴラフェニブ</td> <td>スチバーガ</td> <td>REG</td> <td>飲み薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">抗 EGFR 薬</td> <td>セツキシマブ</td> <td>アービタックス</td> <td>CET</td> <td>注射薬</td> <td>RAS <u>野生型遺伝子</u></td> </tr> <tr> <td>パニツムマブ</td> <td>ベクティピクス</td> <td>PANI</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">抗 PD-1 薬</td> <td>ペムプロリスマブ</td> <td>キートルーダ</td> <td>PEMB</td> <td>注射薬</td> <td><u>MSI-high 遺伝子</u></td> </tr> <tr> <td>ニボルマブ</td> <td>オブジーボ</td> <td>NIVO</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>抗 CTLA4 薬</td> <td>イピリムマブ</td> <td>ヤーボイ</td> <td>IPI</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BRAF 阻害薬</td> <td>エンコラフェニブ</td> <td>ピラフトビ</td> <td>ENCO</td> <td>飲み薬</td> <td><u>BRAF 変異型遺伝子</u></td> </tr> <tr> <td>MEK 阻害薬</td> <td>ピメチニブ</td> <td>メクトビ</td> <td>BINI</td> <td>飲み薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">TRK 阻害薬</td> <td>エヌトレクチニブ</td> <td>ロズリートレク</td> <td></td> <td>飲み薬</td> <td><u>NTRK 融合遺伝子</u></td> </tr> <tr> <td>ラロトレクチニブ</td> <td>ヴァイトラックビ</td> <td></td> <td>飲み薬</td> <td>陽性</td> </tr> </tbody> </table>		一般名	商品名(例)	略称(例)	投与方法	投与の対象となる患者さん	抗 VEGF 系薬	ペバシズマブ	アバスチン	BEV	注射薬		ラムシルマブ	サイラムザ	RAM	注射薬		アフリベルセプト	ザルトラップ	AFL	注射薬		マルチキナーゼ阻害薬	レゴラフェニブ	スチバーガ	REG	飲み薬		抗 EGFR 薬	セツキシマブ	アービタックス	CET	注射薬	RAS <u>野生型遺伝子</u>	パニツムマブ	ベクティピクス	PANI	注射薬		抗 PD-1 薬	ペムプロリスマブ	キートルーダ	PEMB	注射薬	<u>MSI-high 遺伝子</u>	ニボルマブ	オブジーボ	NIVO	注射薬		抗 CTLA4 薬	イピリムマブ	ヤーボイ	IPI	注射薬		BRAF 阻害薬	エンコラフェニブ	ピラフトビ	ENCO	飲み薬	<u>BRAF 変異型遺伝子</u>	MEK 阻害薬	ピメチニブ	メクトビ	BINI	飲み薬		TRK 阻害薬	エヌトレクチニブ	ロズリートレク		飲み薬	<u>NTRK 融合遺伝子</u>	ラロトレクチニブ	ヴァイトラックビ		飲み薬	陽性
		一般名	商品名(例)	略称(例)	投与方法	投与の対象となる患者さん																																																																											
	抗 VEGF 系薬	ペバシズマブ	アバスチン	BEV	注射薬																																																																												
		ラムシルマブ	サイラムザ	RAM	注射薬																																																																												
		アフリベルセプト	ザルトラップ	AFL	注射薬																																																																												
	マルチキナーゼ阻害薬	レゴラフェニブ	スチバーガ	REG	飲み薬																																																																												
	抗 EGFR 薬	セツキシマブ	アービタックス	CET	注射薬	RAS <u>野生型遺伝子</u>																																																																											
		パニツムマブ	ベクティピクス	PANI	注射薬																																																																												
	抗 PD-1 薬	ペムプロリスマブ	キートルーダ	PEMB	注射薬	<u>MSI-high 遺伝子</u>																																																																											
		ニボルマブ	オブジーボ	NIVO	注射薬																																																																												
	抗 CTLA4 薬	イピリムマブ	ヤーボイ	IPI	注射薬																																																																												
	BRAF 阻害薬	エンコラフェニブ	ピラフトビ	ENCO	飲み薬	<u>BRAF 変異型遺伝子</u>																																																																											
MEK 阻害薬	ピメチニブ	メクトビ	BINI	飲み薬																																																																													
TRK 阻害薬	エヌトレクチニブ	ロズリートレク		飲み薬	<u>NTRK 融合遺伝子</u>																																																																												
	ラロトレクチニブ	ヴァイトラックビ		飲み薬	陽性																																																																												
正	正 (赤下線)																																																																																
	表4 分子標的薬																																																																																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般名</th> <th>商品名(例)</th> <th>略称(例)</th> <th>投与方法</th> <th>投与の対象となる患者さん※</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">抗 VEGF 系薬</td> <td>ペバシズマブ</td> <td>アバスチン</td> <td>BEV</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラムシルマブ</td> <td>サイラムザ</td> <td>RAM</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アフリベルセプト</td> <td>ザルトラップ</td> <td>AFL</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>マルチキナーゼ阻害薬</td> <td>レゴラフェニブ</td> <td>スチバーガ</td> <td>REG</td> <td>飲み薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">抗 EGFR 薬</td> <td>セツキシマブ</td> <td>アービタックス</td> <td>CET</td> <td>注射薬</td> <td>RAS <u>遺伝子野生型</u></td> </tr> <tr> <td>パニツムマブ</td> <td>ベクティピクス</td> <td>PANI</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">抗 PD-1 薬</td> <td>ペムプロリスマブ</td> <td>キートルーダ</td> <td>PEMB</td> <td>注射薬</td> <td><u>MSI-High</u></td> </tr> <tr> <td>ニボルマブ</td> <td>オブジーボ</td> <td>NIVO</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>抗 CTLA4 薬</td> <td>イピリムマブ</td> <td>ヤーボイ</td> <td>IPI</td> <td>注射薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BRAF 阻害薬</td> <td>エンコラフェニブ</td> <td>ピラフトビ</td> <td>ENCO</td> <td>飲み薬</td> <td><u>BRAF 遺伝子変異型</u></td> </tr> <tr> <td>MEK 阻害薬</td> <td>ピメチニブ</td> <td>メクトビ</td> <td>BINI</td> <td>飲み薬</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">TRK 阻害薬</td> <td>エヌトレクチニブ</td> <td>ロズリートレク</td> <td></td> <td>飲み薬</td> <td><u>NTRK 融合遺伝子</u></td> </tr> <tr> <td>ラロトレクチニブ</td> <td>ヴァイトラックビ</td> <td></td> <td>飲み薬</td> <td>陽性</td> </tr> </tbody> </table>		一般名	商品名(例)	略称(例)	投与方法	投与の対象となる患者さん※	抗 VEGF 系薬	ペバシズマブ	アバスチン	BEV	注射薬		ラムシルマブ	サイラムザ	RAM	注射薬		アフリベルセプト	ザルトラップ	AFL	注射薬		マルチキナーゼ阻害薬	レゴラフェニブ	スチバーガ	REG	飲み薬		抗 EGFR 薬	セツキシマブ	アービタックス	CET	注射薬	RAS <u>遺伝子野生型</u>	パニツムマブ	ベクティピクス	PANI	注射薬		抗 PD-1 薬	ペムプロリスマブ	キートルーダ	PEMB	注射薬	<u>MSI-High</u>	ニボルマブ	オブジーボ	NIVO	注射薬		抗 CTLA4 薬	イピリムマブ	ヤーボイ	IPI	注射薬		BRAF 阻害薬	エンコラフェニブ	ピラフトビ	ENCO	飲み薬	<u>BRAF 遺伝子変異型</u>	MEK 阻害薬	ピメチニブ	メクトビ	BINI	飲み薬		TRK 阻害薬	エヌトレクチニブ	ロズリートレク		飲み薬	<u>NTRK 融合遺伝子</u>	ラロトレクチニブ	ヴァイトラックビ		飲み薬	陽性
		一般名	商品名(例)	略称(例)	投与方法	投与の対象となる患者さん※																																																																											
	抗 VEGF 系薬	ペバシズマブ	アバスチン	BEV	注射薬																																																																												
		ラムシルマブ	サイラムザ	RAM	注射薬																																																																												
		アフリベルセプト	ザルトラップ	AFL	注射薬																																																																												
	マルチキナーゼ阻害薬	レゴラフェニブ	スチバーガ	REG	飲み薬																																																																												
	抗 EGFR 薬	セツキシマブ	アービタックス	CET	注射薬	RAS <u>遺伝子野生型</u>																																																																											
		パニツムマブ	ベクティピクス	PANI	注射薬																																																																												
	抗 PD-1 薬	ペムプロリスマブ	キートルーダ	PEMB	注射薬	<u>MSI-High</u>																																																																											
		ニボルマブ	オブジーボ	NIVO	注射薬																																																																												
	抗 CTLA4 薬	イピリムマブ	ヤーボイ	IPI	注射薬																																																																												
	BRAF 阻害薬	エンコラフェニブ	ピラフトビ	ENCO	飲み薬	<u>BRAF 遺伝子変異型</u>																																																																											
MEK 阻害薬	ピメチニブ	メクトビ	BINI	飲み薬																																																																													
TRK 阻害薬	エヌトレクチニブ	ロズリートレク		飲み薬	<u>NTRK 融合遺伝子</u>																																																																												
	ラロトレクチニブ	ヴァイトラックビ		飲み薬	陽性																																																																												
※投与の対象となる患者さんの遺伝子検査については、66ページ Q12-2 を参照																																																																																	

頁	50
訂正箇所	表7 転移・再発を起こした大腸がんの薬物療法の治療方針の例
誤	<p>誤 (黒矢印)</p> <p>例5 FOLFOXIRI (+ペバシ/ズマブ) → セツキシマブ または パニツムマブ (+イリノ/テカン) → レゴラフェニブ または FTD/TPI</p> <p>5-FU系抗がん剤、オキサリプラチン、イリノテカンを使用した薬物療法後に病状が進行した患者さんのうち、がん組織の検査で「高頻度マイクロサテライト不安定性(MSI-High)」という所見が認められた患者さん。</p> <p>ペムプロリスマブ (二次治療以降の適切な時期に) ← 削除</p> <p>例6 SFU+LV、UFT+LV、カペシタジン、S-1、いずれか +ペバシズマブ → 可能であれば例1~5のいずれかの治療へ移行 または セツキシマブまたはパニツムマブ</p> <p>例7 MSI-H陽性、ペムプロリスマブ → 上記の一次治療以降の中から最適と判断される治療法を選択する 一次治療でペムプロリスマブを使用していない場合は、上記の二次治療以降の最適な治療ラインでペムプロリスマブ、またはニボルマブ、イビリムマブ+ニボルマブを実施する</p> <p>例8 BRAF^{V600E}遺伝子変異陽性、上記の一次治療の中から最適と判断される治療法を選択する → エンコラフェニブ+セツキシマブまたはエンコラフェニブ+ピニメチニブ+セツキシマブ、またはエンコラフェニブ+セツキシマブ、またはエンコラフェニブ+ピニメチニブ+セツキシマブを実施する → 上記の二次治療以降の中から最適と判断される治療法を選択する</p> <p>例9 NTRK融合遺伝子陽性、上記の一次治療の中から最適と判断される治療法を選択する → エヌトレクチニブまたはラロトレクチニブ、上記の二次治療以降の最適な治療ラインでエヌトレクチニブ、またはラロトレクチニブを実施する</p> <p>※セツキシマブ、パニツムマブは、RAS遺伝子に変異がない(野生型)患者さんのみが対象となります。 ※FOLFIRI療法の代わりにCAPOX療法やSOX療法を、FOLFIRI療法の代わりにIRIS療法を用いることもあります。 ※患者さんの状態によっては一部の薬を抜いて行うこともあります。</p>
正	<p>正 (赤下線)</p> <p>例5 FOLFOXIRI (+ペバシ/ズマブ) → セツキシマブ または パニツムマブ (<u>イリノ</u>/テカン) → レゴラフェニブ または FTD/TPI</p> <p>例6 SFU+LV、UFT+LV、カペシタジン、S-1、いずれか +ペバシズマブ → 可能であれば例1~5のいずれかの治療へ移行 または セツキシマブまたはパニツムマブ</p> <p>例7 <u>MSI-High</u>、ペムプロリスマブ → 上記の一次治療以降の中から最適と判断される治療法を選択する 一次治療でペムプロリスマブを使用していない場合は、上記の二次治療以降の最適な治療ラインでペムプロリスマブ、またはニボルマブ、イビリムマブ+ニボルマブを実施する</p> <p>例8 BRAF^{V600E}遺伝子変異陽性、上記の一次治療の中から最適と判断される治療法を選択する → エンコラフェニブ+セツキシマブまたはエンコラフェニブ+ピニメチニブ+セツキシマブ、またはエンコラフェニブ+セツキシマブ、またはエンコラフェニブ+ピニメチニブ+<u>セツキシマブ</u>を実施する → 上記の二次治療以降の中から最適と判断される治療法を選択する</p> <p>例9 NTRK融合遺伝子陽性、上記の一次治療の中から最適と判断される治療法を選択する → <u>エヌトレクチニブ</u>またはラロトレクチニブ、上記の二次治療以降の最適な治療ラインでエヌトレクチニブ、またはラロトレクチニブを実施する</p> <p>※セツキシマブ、パニツムマブは、RAS遺伝子に変異がない(野生型)患者さんのみが対象となります。 ※FOLFIRI療法の代わりにCAPOX療法やSOX療法を、FOLFIRI療法の代わりにIRIS療法を用いることもあります。 ※患者さんの状態によっては一部の薬を抜いて行うこともあります。</p>

頁	ii
訂正箇所	●ガイドライン作成委員会
誤	外科領域責任者 金光幸永
正	外科領域責任者 金光幸秀